2026年11月16日

各　　位

会 社 名　エア・ウォーター株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員　千歳 喜弘
（コード：4088　東証プライム・札証）
問合せ先　広報部長　福島 圭介
ＴＥＬ　０６－６２５２－３９６６

2026年3月期有価証券報告書の訂正報告書の提出 および2026年3月期決算短信の訂正に関するお知らせ

当社は、本日、2026年3月期有価証券報告書の訂正報告書を関東財務局へ再提出するとともに、2026年3月期決算短信を訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株主、投資家をはじめとする関係者の皆様に、ご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

記

１．訂正の経緯および理由

当社は、2027年3月期第1四半期の決算業務の実施過程における自主点検および会計監査人による期中レビュー手続で、2026年7月31日に提出した2026年3月期有価証券報告書および同日開示した2026年3月期決算短信について、グループ通算制度に係る税金計算および税効果会計に関する会計処理に加え、非金融資産の減損損失について計上額および機能別表示の区分に誤りがあることが判明しました。

当社において会計上の影響額を検証した結果、2026年3月期の連結財務諸表を訂正する必要があると判断したため、有価証券報告書の訂正報告書を再提出するとともに、2026年3月期決算短信を訂正することといたしました。また、今回の訂正に際しては、相互保有株式の記載内容に誤りが判明したため、併せて訂正しております。

具体的には、グループ通算制度に係る税金計算において、集計の誤りにより法人所得税費用および未払法人所得税が過大に計上されていたほか、税効果会計における繰延税金資産の一部の計上漏れおよび連結財務諸表上の一時差異に係る繰延税金資産の計上誤りがありました。また、減損損失について、一部の計上対象が適切に反映されていなかったことに加え、外貨換算および計上額の集計過程に誤りがありました。さらに、減損損失の機能別表示の区分に一部誤りがありました。

これらの会計処理の訂正に伴い、法人所得税費用、未払法人所得税および繰延税金資産を訂正するとともに、減損損失の計上額および機能別表示の区分を見直し、売上原価、販売費および一般管理費ならびにその他の費用を訂正しております。その結果、売上総利益および営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益等の段階利益のほか、基本的1株当たり当期利益、資産合計および資本合計を含む、関連する連結財務諸表の各項目および注記事項を訂正しております。

また、連結財務諸表注記における収益の分解情報において、新規連結子会社の品種区分の登録に誤りがあり、「物品の販売」と「機器工事」の間で売上収益の区分に誤りが生じていたため、当該情報を訂正しております。

なお、本訂正による売上収益の総額への影響はありません。

具体的な訂正箇所については、本日提出した有価証券報告書の訂正報告書および別途開示する「(訂正・数値データ訂正)『2026年3月期決算短信〔ＩＦＲＳ〕(連結)』の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2．訂正による2026年3月期連結業績への影響

	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	資産合計	資本合計
訂正前（A）	百万円 △37,157	百万円 △63,949	百万円 1,216,287	百万円 410,970
訂正後（B）	△36,942	△54,020	1,216,222	420,739
影響額（B－A）	＋215	＋9,929	△65	9,769
増減率（%）	－	－	△0.0	2.4

（注）増減率は小数第2位を四捨五入して表示しております。なお、訂正前または訂正後の数値がマイナスとなる項目については「－」と表示しております。

3．今後の対応

当社は、今回の訂正を重く受け止め、決算・財務報告に関する確認体制を一層強化し、同様の事象の再発防止に努めてまいります。なお、本件による2027年3月期の連結業績予想への影響はありません。

以　上